



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 白 銅 株 式 会 社
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 山 田 哲 也
役 職 氏 名
(コード番号：7637 東証プライム)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 CFO 山 田 光 重
責 任 者
電 話 番 号 0 3 (6 2 1 2) 2 8 1 1

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2026 年 5 月 13 日に公表した業績予想および配当予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想数値の修正

(1) 2027 年 3 月期第 2 四半期 (累計) (2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 中間純利益 (百万円)	1 株当たり 中間純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	41,000	2,080	2,310	1,590	140.19
今回修正予想(B)	44,600	2,700	2,700	1,870	164.88
増減額 (B－A)	3,600	620	390	280	
増減率	8.8%	29.8%	16.9%	17.6%	
(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期第 2 四半期)	32,699	1,005	1,087	683	60.25

(2) 2027 年 3 月期通期 (2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	84,000	4,310	4,700	3,210	283.03
今回修正予想(B)	92,200	5,060	5,190	3,590	316.53
増減額 (B－A)	8,200	750	490	380	
増減率	9.8	17.4	10.4	11.8	
(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期通期)	68,109	2,872	3,190	2,146	189.24

2. 個別業績予想数値の修正

(1) 2027 年 3 月期第 2 四半期（累計）（2026 年 4 月 1 日～2026 年 9 月 30 日）

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	中間純利益 (百万円)	1 株当たり 中間純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	36,000	2,080	1,400	123.44
今回修正予想 (B)	38,900	2,300	1,530	134.90
増減額 (B－A)	2,900	220	130	
増減率	8.1	10.6	9.3	
(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期第 2 四半期)	28,102	1,175	793	69.93

(2) 2027 年 3 月期通期（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）

	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1 株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	74,000	4,320	2,910	256.58
今回修正予想 (B)	80,700	4,490	3,010	265.39
増減額 (B－A)	6,700	170	100	
増減率	9.1	3.9	3.4	
(ご参考) 前期実績 (2026 年 3 月期通期)	59,056	3,070	2,068	182.38

3. 業績予想修正の理由

当第 1 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調がみられたものの、物価上昇や原材料・エネルギー価格の高止まりに加え、米国の関税政策をはじめとする通商政策の動向や中東地域をめぐる地政学的リスクなどの影響から、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

また、当社グループの業績に影響が大きい半導体製造装置業界については、生成 AI 市場の拡大を背景にデータセンター向けの先端ロジック半導体ならびにメモリーの増産投資が急増していることから、半導体向けの設備投資は高い水準で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、半導体業界に特化した販売組織を設立したことにより顧客基盤の拡大を進め、同業界におけるシェア拡大を市場成長とともに加速させてまいりました。また、前連結会計年度で実施した価格改訂が浸透したことの影響もあり、第 1 四半期の業績が想定を上回り、今後も堅調に推移することを見込んでおります。

以上のことから 2027 年 3 月期第 2 四半期（累計）および通期の連結業績予想について、2026 年 5 月 13 日に公表しました業績予想における、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ修正いたします。

同様に 2027 年 3 月期第 2 四半期（累計）および通期の個別業績予想についても、2026 年 5 月 13 日に公表しました業績予想における、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益をそれぞれ修正いたします。

4. 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
前回予想 (2026 年 5 月 13 日発表)	円 銭 —	円 銭 64.00	円 銭 —	円 銭 64.00	円 銭 128.00
今回修正予想	—	75.00	—	68.00	143.00
当期実績	—		—		
前期実績 (2026 年 3 月期)	—	28.00	—	58.00	86.00

5. 配当予想修正の理由

当社は、財務体質の強化と業績に裏付けられた成果の配分を実施することを基本方針とし、原則、通期の配当性向 45%または年間配当 1 株当たり 80 円のいずれか高い方を配当することとしております。

以上の配当方針に基づき 2027 年 3 月期第 2 四半期(累計)および通期の業績予想の修正を踏まえ、中間配当金を前回予想の 1 株当たり 64 円から 75 円、年間配当金を前回予想の 1 株当たり 128 円から 143 円に修正いたします。

ご注意 : 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、多分に不確定要素が内在しております。業況の変化等により、実際の数値はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以上